

菊池地域医療構想調整会議

岸 病院が担う役割について

平31年3月20日 岸 病院

1 現状と課題①

【自施設の現状と課題】

昭和38年7月に岸 診療所として、消化器外科を主に開院されました。その後、当院は昭和44年10月に医療法人 菊芳会 岸 病院となり、平成6年からは療養病床として新築しました。

現在は、慢性期の病院（医療療養型病棟・介護療養型病棟）として地域医療に携わっております。

当院の基本理念

**「地域の皆様の為に、誠意・信頼・幸福をモットーに
心のこもった役立つ地域医療」**

を掲げ、現在は、ご病気の治療だけでなく、プライマリ・ケアやリハビリテーション、鍼治療も含め患者様の生活全体を考えた地域医療・介護サービスを提供しております。

1 現状と課題②

【自施設の現状と課題】

又、当院は平成6年にリハビリテーション部を追加し、地域の患者様の肺炎・圧迫骨折等様々な疾患に伴う、機能障害・能力障害に対し、患者一人ひとりのニーズに合ったリハビリテーションを提供しております。

平成12年には介護保険の開始に伴い、地域の要望・必要性に応じ通所リハビリテーション（デイケア）を開設し、訪問診療も行っております。

その他

- ①市委託の乳幼児健診
- ②学校医（泗水西小、保育園、高等学校）
- ③産業医
- ④警察嘱託による検案活動
- ⑤施設のIT化をすすめており、
 1. 平成26年 富士フィルムメディカル FDRの導入
 2. 平成27年6月 デジタル方式ナースコール導入
 3. 平成29年2月 全館照明のLED化
 4. 平成31年1月 キヤノンメメディカルシステムズ 16列CT導入

1 現状と課題③

【自施設の現状と課題】

許可病床と届出入院基本料 療養型病床 56床

1. 医療療養型病棟 入院基本料 療養2
32床（平成30年4月 40床 → 32へ）
2. 介護療養型病棟 介護型療養病床 I 強化型B(多床室)
24床

職員数（常勤換算）

医 師	薬剤師	理学療法士	管理栄養士	看護師	准看護師	介護職員	事務員
3.1	1	4	1	9.2	8.2	13.8	4

※その他 給食部門委託（栄養士1名・調理師1名・調理員2名）

1 現状と課題④

【自施設の現状と課題】

診療実績

療養型医療病棟	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 H30.4～H31.1まで
病床稼働率	%	92.7	93.2	88.6	94.7
医療区分(2・3)	%	69.8	72.8	76.9	78.3
介護療養型病棟	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 H30.4～H31.1まで
病床稼働率	%	93.0	93.8	88.7	95.6
全体(56床)	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 H30.4～H31.1まで
病床稼働率	%	92.8	93.4	88.7	95.1
項目	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
入院患者延数	人	21,686	21,835	20,727	16,302
入院患者数	人	181	182	176	136
退院患者数	人	183	181	187	130
外来患者数	人	6,554	6,341	5,408	4,081

1 現状と課題⑤

【自施設の現状と課題】

医療従事者の確保及び病院情報の発信

今般の医療従事者の不足に対して当院でも医療機関従事者の確保が課題となっています。

具体的な人員確保対策として

- ① 昨年（平成30年）4月病床を減少し、今まで2病棟3フロアーであったのを2病棟2フロアーにし、看護・介護業務に於いて動線の改善を行いました。
- ② 本年より、ホームページを立ち上げ、現在のネット社会に応じた情報の発信とネット上での求人活動を行います。
- ③ 看護学生への支援

2 今後の方針

【地域において今後担うべき役割】

医療療養型病棟

近辺の医療機関等との連携をとり、外来患者様の肺炎・圧迫骨折・終末期の看取りなど、地域の慢性期の病院としての役割を踏まえ、菊池地域圏の1医療機関として現状を維持して行きます。

介護療養型病棟

益々の高齢化に伴い、現病床を維持し、介護医療医院への転換を目指し、地域のニーズに応えていきたいと考えております。

救急医療（輪番制2次）

現状、自家用車などでの来院もあり、可能な限り菊池医療圏での救急医療機関としての役割を果たして行きたいと考えております。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【① 4 機能ごとの病床のあり方 その1】

単位：床

病床機能	2018年(平成30年)	2025年
高度急性期	0	0
急性期	0	0
回復期	0	0
慢性期	56	32
その他	0	0
合計	56	32

※介護療養型病棟24床は、2025年までに介護医療院へ転換予定

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【 ① 4 機能ごとの病床のあり方 その2 】

医療療養型病棟

- ・ 現在 療養2（医療区分2・3の割合が50%以上、80%未満）の入院基本料を算定していますが、今後は医療度の高い（医療区分2・3の割合が80%以上）療養1を目指します。
- ・ 自院の外来患者様の入院と近辺医療機関等からの慢性期ながら重篤な患者様の紹介率が高く、今まで同様、他医療機関等との連携を充実しつつ、外来患者様、近辺の医師の先生方からのご信頼を高めて行くことを目指しています。

リハビリテーション部門

今後、理学療法士を増員も視野に入れ、脳血管疾患、運動器疾患等のリハビリテーションに於ける技術・知識の向上に取り組み、患者様一人ひとりの異なるニーズ・目標の達成を目指して行きます。

外 来

今年31年1月にCT装置を16列以上に新しく入れ替え、又、検査（内視鏡等）担当医師を確保し、自院での初期検査の充実を図って行きます。

3 具体的な計画

(1) 今後提供する医療機能に関する事項

【②診療科の見直し】

	現時点 (H31年2月時点)	2025年	理由・方策
維持	内科・循環内科・胃腸 内科・外科・整形外科 皮膚科・泌尿器科・リ ハビリテーション科・ こう門科・麻酔科	内科・循環内科・胃腸 内科・外科・整形外科 皮膚科・泌尿器科・リ ハビリテーション科・ こう門科・麻酔科	
新設	なし	なし	
廃止	なし	なし	
変更・統合	なし	なし	

3 具体的な計画 (2) 数値目標

	現時点(平成30年4月～平成31年 1月時点)	2025年
①病床稼働率	95.1%	97%
②紹介率	43.8%	48.1%
③逆紹介率	19.1%	24.7%

3 具体的な計画

(3) 数値目標の達成に向けた取組みと課題

【取組みと課題】

1. 慢性期医療機関としての役割

今後も病院のハード、ソフト面を充実させ、現病床数を維持し、慢性期の医療機関としての当院の役割を果たし、近辺医療機関との連携強化に努め地域医療に貢献して行きたいと考えております。

2. 地域医療への取り組み

新しく開設したホームページ等を活かし、患者様への新しい情報を随時発信し、開かれた、患者様の満足する医療を提供して行きたいと考えております。